

優れた技と熱い思いを抱く技能者たちが ものづくりの頂点に挑戦する技能競技大会!

若い技能者や熟練技能者たちがそれぞれの技能レベルを競い合うことにより、技能者に努力目標を与えると共に技能に身近に触れる機会を提供するなど、広く国民一般に対して技能の重要性・必要性をアピールすることにより、技能尊重気運の醸成を図ることを目的として、各技能競技大会が開催されています。



技能競技大会参加による 活用・意義



技能五輪
国際大会
(隔年開催)

技能五輪国際大会

国際的に技能を競うことにより参加国の職業訓練の振興及び技能水準の向上を図ると共に、青年技能労働者(22歳以下)の国際交流と親善を目的として、1950年にスペイン・ポルトガルで始まり、日本は1962年の第11回スペイン・ヒホン大会から参加しています。



技能五輪
全国大会
(毎年開催)

技能五輪全国大会

青年技能者(原則23歳以下)の技能レベル日本一を競う技能競技大会で、1963年から毎年開催され金属系、電子技術系、機械系、情報通信系、建設・建築系、サービス・ファッション系など、約40もの幅広い職種について競技されます。

技能検定(国家検定制度)とは…!

技能検定は、「働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度」です。技能検定は、技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。技能検定を実施している職種は、136職種にのぼります。(2011年2月現在)
技能検定には、現在、特級、1級、2級、3級に区別するもの、単一等級として等級を区別しないものがあります。

- 特級** 管理者または監督者が通常有すべき技能の程度
 - 1級及び単一等級** 上級技能者が通常有すべき技能の程度
 - 2級** 中級技能者が通常有すべき技能の程度
 - 3級** 初級技能者が通常有すべき技能の程度
- 技能検定の合格者には、厚生労働大臣名(特級、1級、単一等級)または都道府県知事名(2級、3級)の合格証書が交付され、技能士と称することができます。また、技能検定合格者には、他の国家試験の受験や資格取得に際して特典が認められる場合があります。



技能
グランプリ
(隔年開催)

技能グランプリ

優れた技能を有する特級・1級・単一等級技能士による年齢制限がなく参加する文字どおり熟練技能を競い合う全国規模の技能競技大会です。1981年から開催され、現在は2年に一度開催され約30職種の熟練の技が日本一を目指しています。



若年者ものづくり競技大会

職業能力開発施設や工業高等学校などで技能を習得中の若年者(原則20歳以下)を対象とした技能競技大会。未来のものづくり産業を支える若年技能者の人材育成をしていくために2006年から開催されています。